

令和3年度東北農業試験研究推進会議 生産環境推進部会
土壌肥料研究会（冬期） 開催要領

東北農業試験研究推進会議 生産環境推進部会長
農研機構東北農業研究センター
緩傾斜畑作研究領域長 新良力也

1. 趣 旨

「みどりの食料システム戦略」に対応した土壌肥料研究の展開方向を探る。同戦略に係る土壌肥料研究は多岐（有機農業の促進、有機物利用、化学肥料削減、温室効果ガス発生抑制など）に渡るが、いずれにおいても有機物利用の高度化が重要と考え、緑肥および有機質肥料等の利活用に焦点をあてて研究会を設定する。

2. 開催日時 令和4年1月20日（木）13：30～1月21日（金）12：00

3. 開催場所 アイーナ（いわて県民情報交流センター）会議室812
盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号（盛岡駅西口駅前）

4. 議 題

1) 重点検討事項

「みどりの食料システム戦略に対応した緑肥および有機質肥料等の利活用技術」

(1) 話題提供

「緑肥のもつ様々な効果とその化学肥料低減・有機農業拡大に向けた利活用の可能性」

農研機構中日本農業研究センター温暖地野菜研究領域

有機・環境保全型栽培グループ グループ長補佐 唐澤敏彦 氏

「水田における堆肥等有機質資材の肥効判断指標および施用効果について」

宮城県農業・園芸総合研究所園芸環境部土壌環境チーム

上席主任研究員 瀧 典明 氏

(2) 各県の取り組み状況と今後の研究方向

(3) 総合討議

2) 令和3年度研究成果情報候補の紹介および関連技術・研究に関する情報交換

5. 参集範囲

国立研究開発法人試験研究機関および公設試験研究機関の関係者、東北農政局担当官、大学関係、県行政部局・県普及部局の関係者、その他推進部会長が必要と認める者

6. 連絡先

事務局：農研機構東北農業研究センター 水田輪作研究領域 高橋智紀

〒014-0102 秋田県大仙市四ツ屋字下古道3

TEL：0187-66-2775 FAX：0187-66-2639 E-mail：tomoki@affrc.go.jp

7. その他

資料提出などの詳細については、別途事務連絡いたします。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の状況によっては、開催を中止とする場合や、リモート会議またはメール会議等に開催方法を変更する場合があります。

運営事務局は出席者名簿を作成し、万一、会議参加者に新型コロナウイルスの感染者が確認された場合、感染経路や濃厚接触者の調査のため、保健所等の公的機関に出席者名簿を提示する可能性があることをご承知おきください。